

## 志賀興業建設㈱ 環境行動計画

令和 3年 8月 5日

### 取組方針

志賀興業建設株式会社は、当社の経営理念である『信頼・協調・努力』をモットーに、顧客ニーズにあった建設工事業を営んでいます。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全も重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 資源（紙）の使用量削減
- ④ 5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

この方針に基づいて自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和 3年 8月 5日

志賀興業建設株式会社

代表取締役 橋 映吾

## ■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次のとおりです。

<p>目標-1</p>	<p>二酸化炭素の総排出量を、令和2年度を基準として令和4年度までに2%削減する。(239,640kg-CO2⇒234,847kg-CO2)</p>
<p>具体的な 取組</p>	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。</li> <li>② 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。</li> <li>③ ノー残業デーを設ける。</li> <li>④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。</li> <li>⑤ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。</li> <li>⑥ カーテン、ブラインドを利用して室内への日射と通風を調節する。</li> </ul> <p>(車両での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)</li> <li>② 車両の点検を定期的に行う。</li> <li>③ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。</li> <li>④ 不要な荷物は積まないようにする。</li> </ul>

<p>目標-2</p>	<p>廃棄物の適正な管理を行い、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努める。</p>
<p>具体的な 取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。</li> <li>② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。</li> <li>③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。</li> <li>④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。</li> <li>⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。</li> <li>⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入、使用する。</li> <li>⑦ 紙、段ボールのリサイクルに努める。</li> </ul>

目標-3	コピー用紙使用量を、令和2年度を基準として令和4年度までに2%削減する。(46.2kg⇒45.3kg)
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。</li> <li>② 社内資料は、両面コピー、縮小をコピー、裏面活用に努める。</li> <li>③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。</li> <li>④ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。</li> <li>⑤ コピーする際は、必要性を十分考えてコピーする。</li> </ul>

目標-4	5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 資材置き場の整理・整頓・清掃・清潔に心掛ける。</li> <li>② 必要なものがすぐに使えるような配置（レイアウト）、置き場所、置き方を決める。</li> <li>③ 決めたルールを守る習慣づけをする。</li> </ul>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、社長を中心に全社員が「環境保全活動に向けた具体的な取組」に取り組むとともに、その進捗状況を年1回チェックします。